

岡山 E S D 推進協議会 令和 7 年度活動報告

【重点取組① 持続可能な地域づくりの推進】

- 持続可能な社会づくりに向けた市民の理解を進め、岡山地域及び、それぞれの地域コミュニティごとに持続可能な未来の姿を描くとともに、その実現のための連携・協働を推進します。

(1) 岡山 E S D プロジェクト活動団体交流会

岡山 E S D プロジェクト登録団体及び、岡山 E S D プロジェクト活動助成金交付団体の交流会を行った。

開催日：6月9日（月） 場所：岡山市勤労者福祉センター

参加者：31名

(2) S D G s 海川フォーラム、E S D カフェ×S D G s 等の実施（後述）

【重点取組② S D G s 達成に向けた実践】

- S D G s の達成に向けた E S D の学びの役割を強調しながら、持続可能な社会づくりに向けた実践に繋がる取組を推進することで、S D G s の達成に貢献していきます。

(1) S D G s 守ろう！海・川プロジェクト

①岡山連携中枢都市圏の12市町で連携し、海ごみ削減を目指した河川のごみ拾いを中心としたイベントを開催（春・秋の年2回）

- ・「岡山のランナー集まれ！街中クリーン大作戦」（第7回）

開催日：5月10日（土） 会場：下田町公園周辺

- ・「岡山のランナー集まれ！街中クリーン大作戦」（第8回）

開催日：10月12日（日） 会場：下田町公園周辺

主催：岡山市、栄光スポーツ ランニング専門店ランプロ

後援：岡山 E S D 推進協議会、公益財団法人岡山県環境保全事業団

② S D G s 海川フォーラム 2026～持続可能な社会に向けて～

学校、企業、地域団体、公民館のポスターセッション及び参加者全員でのワークショップ等を通じて、海ごみ問題や S D G s について学び合った。

開催日：2月7日（土） 会場：岡山国際交流センター

参加者：65名

③SDGsパネル展

岡山連携中枢都市圏市町「河川・海ごみ回収レポート」と「SDGsの取組」を展示し、市民や職員に対し、具体的な取組事例を紹介することでSDGsの普及啓発を行った。

開催日：2月7日（土） 会場：岡山国際交流センター（海川フォーラム会場内）

開催日：2月24日（火）～25日（水） 会場：岡山市役所本庁舎1階市民ホール

④「守ろう！海・川」川柳の募集

ふるさとの海や川への想い、海川ごみ問題について考えていただくきっかけづくりを目的に、岡山県内在住の方を対象に川柳を募集した。

募集期間：6月中旬～11月14日（金）

応募件数：236件

⑤後援等で協力した清掃活動

5月10日（土） 「岡山のランナー集まれ！街中クリーン大作戦」（第7回）

（主催：岡山市、栄光スポーツ）

10月12日（日） 「岡山のランナー集まれ！街中クリーン大作戦」（第8回）

（主催：岡山市、栄光スポーツ）

（2）岡山連携中枢都市圏ESD実践

①SDGs・ESD研修

岡山連携中枢都市圏市町の職員、住民を対象としたSDGs・ESDに関する研修を2回実施した。（1/29久米南町、2/28真庭市）また、真庭市において岡山連携中枢都市圏事業によるSDGs・ESDに関するフォーラム・イベント等実施。

②「未来わくわくSDGsフェスタ」での連携

「未来わくわくSDGsフェスタ」のパネル展示等で連携し、岡山連携中枢都市圏の取組を発信した。

主催：岡山市・岡山ESD推進協議会

来場者：約3,000人

（3）未来わくわくSDGsフェスタ【委託】

SDGsを学び実践行動につなげるため、ステージイベントや体験型ワークショップなどを行うSDGs普及啓発イベントを開催した。

開催日：8月21日（木） 会場：イオンモール岡山 1階未来スクエア

委託先：株式会社 ビザビ

主催：岡山市・岡山ESD推進協議会

来場者：約3,000人

【重点取組③ ユース・人材育成】

- 岡山地域の若者が持続可能な社会づくりに参画するための体制を整備するとともに、地域や団体等でE S D活動をリードする人材を育成します。

(1) E S Dコーディネーター研修【委託】

市民団体、企業、行政関係者等を対象として、E S Dの視点を身に付け、地域課題の抽出や、課題解決のための企画書作りを通して、地域や職場などでE S Dを推進するE S Dコーディネーターの育成を行った。

開催日：10月3日（金）、10月9日（木）、11月7日（金）、11月21日（金）の
全4回

場所：岡山市勤労者福祉センター 参加者：11名

委託先：NPO法人持続可能な開発のための教育推進会議（E S D-J）

テーマ：「SDG sを視野に入れた地域づくりのために」

(2) E S D学生インターンシップ【委託】

社会課題解決に向けて取り組む岡山のNPOや公民館の取組を体験し、持続可能な社会づくりに向けて主体的に参画する若者の増加を目的に開催。

期間：8月19日（火）～9月12日（金）

参加者：11名（岡山大学、山陽学園大学、就実大学、ノートルダム清心女子大学、愛媛大学、周南公立大学、徳島大学、立命館大学）

実習先：一般社団法人SGSG、NPO法人岡山市子どもセンター、NPO法人タブララサ、NPO法人玉野SDG s みらいづくりセンター、NPO法人チャリティーサンタ、社会福祉法人藤花会、岡山市立旭公民館、岡山市立富山公民館

委託先：NPO法人岡山NPOセンター

(3) 若者向け助成事業の実施

グローバルな視野を持って岡山地域の持続可能な社会づくりに向けた取組にチャレンジする若者等を対象に、調査・研修の経費を助成する事業を実施する。

A) 国内外におけるE S DやSDG s 推進に向けた先進事例の調査に関する事業

認定件数 0件

B) 国内外におけるE S DやSDG s 推進に向けた研修等（会議、ワークショップ等を含む）への参加に関する事業

認定件数 4件

【重点取組④ 地域コミュニティ・公民館・学校でのESDやSDGsの推進】

- 各学校園や公民館、地域団体等の主体的な取組を支援し、持続可能な地域づくりを推進します。

(1) 公民館におけるESDの取組の継続<公民館>

(2) 持続可能な地域づくりに向けた公民館の取組の充実<公民館>

(3) 岡山県ユネスコスクール高等学校ネットワーク実践交流会の支援

岡山県内11校のユネスコスクール高等学校が連携して開催する交流会を支援した。ワークショップやポスターセッション等を実施した。

開催日：11月16日(日) 参加者：94名 場所：岡山市勤労者福祉センター 5階体育集会室

(4) 教員対象のESD研修会<教育委員会学校指導課>

市立の全ての学校を対象とした協議会で、ESDに係る説明及び協議を実施。

文部科学省からの依頼により、岡山大学と連携し、市立小・中・高等学校各1校ずつに対し、計6回の校内研修を実施。

(5) ESDに係る地域と連携した取組<教育委員会学校指導課>

学校が地域の方等を招いて授業を実施した際の講師謝礼金を岡山市教育委員会が負担する事業を実施。

実施校数：延べ27校 協力いただいた地域の方：延べ100名

(6) ESD・SDGs出前教室の実施【委託】

小・中・高等学校からの要望に応じ、講師を派遣し「SDGs出前教室」を実施した。

実施：29件(小学校：19件、中学校：4件、高校：4件、高専：2件)

委託先：SDGsネットワークおかやま

【重点取組⑤ 優良事例の顕彰】

- ESD活動のモデルとなる優良事例を顕彰するとともに、多くの市民に発信することにより、活動の活性化と質の向上を図ります。

ESD岡山アワード2025 応募346件(81か国・地域)

◎受賞取組

◆ 「EduMobile: The Ombombo Mobile Environmental Education Classroom」(エデュモバイル：オンボンボ環境教育移動教室)

団体名：EduVentures Trust (ナミビア共和国)

- ◆ 「CUNbre Territorial Learning Incubator for Youth Led Sustainable Solutions」(カ
ンブレ (若者主導の持続可能な解決策のための地域学習インキュベーター)
団体名 : National Unified Corporation of Higher Education (コロンビア共和国)

10月21日(火)の第14回グローバルRCE会議のプログラムとして、受賞団体への表彰
状授与、市長祝辞、受賞取組の発表を行った。

【重点取組⑥ ESD活動の拡大】

- 持続可能な社会づくりに向けた活動の輪を広げ、公民館や学校以外でも、ESDに関する地
域活動の拠点を増やします。

(1) 岡山ESDプロジェクト活動支援助成金

岡山ESDプロジェクト参加団体の活動内容の充実を図るため、活動費の一部を助成した。

募集期間：3月26日(水)～4月25日(金)

交付決定：39団体(1団体中止)

交付団体説明会(兼交流会)：6月9日(月)

(2) 岡山ESDプロジェクト活動団体交流会

岡山ESDプロジェクト参加団体を対象にお互いの活動内容や課題を共有し、お互いを知り、活
動を充実させるためのきっかけづくりを目的とした交流会を開催した。

開催日：6月9日(月) 参加人数：31名

(3) ESD活動の情報発信

- ・ホームページ「おかやまSDGs・ESDナビ」を活用した参加団体の活動の見える化
「おかやまSDGs・ESDナビ」ホームページで参加団体によるESD活動の情報を掲載す
るとともに、SDGsの各項目に関連した参加団体の紹介ページを活かして、活動の見える化
を図った。
- ・On i ビジョン「おかやまESDナビ」の放送
 - 番組：7・8月 「ふるさとを知ろう！犬島たんけん隊」
 - 10月・11月 「中高生で結成！高島地域づくり隊」
 - 1月・2月 「広がるESDの輪～グローバルRCE会議」
- ・「ESDカフェ×SDGsシリーズ」の実施
様々なESD活動を実践している方を講師に迎えて、各種テーマについて発表や意見交換な
どの交流を行った。
開催件数：4回
参加人数：151名(令和7年度累計)

(4) 岡山 ESD プロジェクト参加団体の拡大

令和7年度新規登録13団体 計409団体 (令和8年3月31日現在)

新規登録団体:

一般社団法人にじず、OKAYAMA お片づけチーム momo、桃環プロジェクト、一般社団法人 アソビ・スクエア、iLCA、えがおのにじ、蛍明小学校区の学びを考える会、生理革命委員会、Remembering Wholeness、レプタイル株式会社、万富東大寺瓦窯跡保存会、岡山で教育版マイクラフトを広めたいマスクラ、岡山版ビヨンドSDGsを考える会

【重点取組⑦ 企業・経済団体の取組促進】

- 企業や経済団体でのESD・SDGsの取組を推進します。

(1) 企業向けSDGs研修

①企業がSDGsを学び、事業を通じた社会貢献と共に企業が発展することを目的に「企業向けSDGsワークショップ」を開催した。(協力：株式会社リコー、リコージャパン株式会社)

・開催日：1月20日(火) 会場：杜の街グレースオフィススクエア3階貸会議室B

内 容：かけアイカードゲーム

参加者：20名

【重点取組⑧ 海外や国内との連携】

- 海外や国内のESD関連組織と一層連携します。

(1) 「SDGs守ろう!海・川プロジェクト」 (再掲)

①岡山連携中枢都市圏の12市町で連携し、海ごみにつながる河川のごみ拾いを中心としたイベントを開催(圏域内で約1,500名参加目標)

②SDGs海川フォーラム～持続可能な社会に向けて～

③SDGsパネル展

④「守ろう!海・川」川柳の募集

(2) 国内のESD推進組織との連携

・国内RCE実務者会議(日本RCEユース会議同時開催)

事務局員3名が参加し、RCE岡山の取組を報告。同日、日本RCEユース会議も開催され、8名(事務局員を除く)の岡山ユースが参加。

開催日：3月20日(金・祝)、21日(土)

会場：神戸大学鶴甲第2キャンパス

- ・中国地方E S D活動支援企画運営委員会

E S D活動支援企画運営委員会（E S D活動支援センター）委員（S D G s ・ E S D推進課長）として出席した。

開催日：6月10日（火） 会場：エソール広島 研修室 1.2（広島市）

- ・中国地方E S D拠点ミーティング

中国地方の地域E S D活動拠点の情報交換のため、事務局員2名が出席した。

開催日：3月18日（水） 会場：第一セントラルビル2号館（岡山市）

（3）海外のE S D推進組織との連携

- ・第14回グローバルR C E会議

開催日：10月21日～23日

会場：岡山コンベンションセンター

参加者：147人（31か国） ※オンラインを含めると266人（47か国）

成果：岡山宣言2025の採択

- ・大学・都市パートナーシップ国際フォーラム

会場：タイ（オンライン参加）

開催日：11月7日

- ・ユネスコ学習都市フォーラム

会場：オンライン

開催日：12月4日

- ・「学習都市の環境を構築・維持するための仕組み」オンライン会議

会場：オンライン

開催日：3月27日

- ・英国の大学生中心の慈善団体「SOS-UK」による視察（1名）

来岡日：4月15日

- ・タイにおけるユネスコ学習都市関係者による視察（タイ・コンケン大学・20名）

来岡日：1月20日～22日

<その他視察対応>

- ・長崎総合科学大学による視察（2名）

来岡日：9月1日

- ・目白大学による視察（1名）

来岡日：2月20日

【岡山ESDプロジェクト参加団体・岡山市等と連携した取組】

(1) 連携中枢都市圏各市町との連携 (再掲)

- ・岡山連携中枢都市圏SDGs・ESD研修
- ・SDGs守ろう!海川プロジェクト

(2) SDGsを推進する産官学民との連携

- ・おかやまSDGsフェア2025

産官学民が協働で実施する、SDGsの先進的な取組を一堂に集めて可視化し、学びと交流の機会を創出するとともに国内外に向けて情報発信するイベントに参画した。

主催：おかやまSDGsフェア実行委員会

開催日：8月7日～8日

会場：岡山コンベンションセンター

来場者：約3,500人

- ・おかやま未来共創プロジェクト

岡山県の大きな課題となっている人口減少・流出問題に関して、「選ばれる岡山」の実現に向け、岡山を知る機会を創出するため、「岡山県版ボードゲーム」の制作に向けた動きが始まった。

実地団体：おかやま円卓会議・おかやま地域発展協議体・おかやま地域発展協議体おかやまSDGs研究会（構成：岡山経済同友会、岡山県銀行協会、岡山県商工会議所連合会、中国銀行、山陽新聞社、岡山県、岡山市、倉敷市、笠岡市、井原市、備前市、瀬戸内市、真庭市、浅口市、西粟倉村、岡山大学）

- ・関西湾岸SDGsチャレンジ事業

岡山学芸館高等学校の生徒と甲南大学の学生が合同で、「多文化共生のまちづくり」をテーマに、ベトナムフェスティバル実行委員長等へのインタビューや、岡山市内でのフィールドワークを行い、その結果を取りまとめ、甲南大学においてプレゼンテーションを行った。(7～11月)

【岡山ESD推進協議会20周年記念事業】

- ・第14回グローバルRCE会議の開催（再掲）
- ・学校と公民館の取組の発信
- ・記念誌（デジタル）の発行（日・英）
- ・ESDの効果測定

岡山ESD推進協議会20周年記念事業検討専門部会において決定された20周年記念事業を実施した。

第14回グローバルRCE会議を開催したほか、フィールドビジットでは福浜、岡輝、富山、西大寺の4つの公民館と、浦安、旭操の2つの小学校を訪問し、それぞれの取組を発信したほか、会議参加者との交流の時間が持たれた。

また、岡山大学の岡山大学学術研究院教育学域ESD協働推進センターの柴川先生にESDの効果測定を実施していただき調査結果を取りまとめたほか、協議会の20年のあゆみや協議会に関わっていただいた方からの寄稿、ESDの効果測定を掲載した「岡山ESD協議会20周年記念誌」を電子書籍等のデジタル媒体で発刊した。

これらの取組に加えて、20周年記念事業の一環として、未来わくわくSDGsフェスタのステージにおいて『みんなで創ろう！ビヨンドSDGs』を開催したほか、3月17日のESDカフェは、「岡山地域で育んだESDの20年～過去から現在、そして未来につなぐ～」と題して、これまでの活動・成果を共有し総括する内容で開催した。



岡山ESD協議会20周年記念誌